



活動成果の発表などで情報を交換 アグリネットワーク青年の集い

県農村青年クラブ連絡協議会、県などが主催する「アグリネットワーク2001青年の集い」が、新規就農者、県立農業大学校生、岩手大学生、県立大学生など150人が参加して、2月1日から2日まで、盛岡市内のホテルで開かれた。集いでは、増田知事が「21世紀、岩手農業への期待」をテーマに講話。7団体が日ごろの活動成果を発表したほか、グループ討論を通して農業青年が持つ希望や悩みなどについて話し合いながら交流を深め、担い手としての自覚を新たにしていた。



県産酒造好適米「吟ぎんが」 使った吟醸酒が全国一斉に発売

県内産のオリジナル酒造好適米「吟ぎんが」を使った今年の新酒が2月5日、全国で一斉発売された。盛岡市内のデパートでも同日、県内の酒造メーカー18社の吟醸酒が発売され、増田知事や県酒造組合の関係者たちが鏡開きをし、買い物客たちに吟醸酒を振る舞った。増田知事は、「岩手の水、酵母、南部杜氏の技で仕込み、熟成させたお酒。ぜひご賞味を」とPR。試飲した人たちからは、「香り高い」などと評判は上々だった。



ボランティア国際年にちなんで 盛岡でシンポジウム開催

内閣府と県の主催による「ボランティア国際年シンポジウムINいわて」が2月16日、盛岡市の県民会館で開かれた。「ボランティア国際年」にちなんで全国11か所でシンポジウムが開催される中で、北海道・東北では本県が唯一の開催地。県民ら約600人が参加し、「沖縄の心を政治・行政に生かすため平和と共生、自立をキーワードに取り組んだ」と振り返った前沖縄県知事の大田昌秀さんによる基調講演やパネルディスカッションを通じて、ボランティア活動への理解を深めた。



増田知事と将来の夢語り合う 小中学生たちが「夢の合同報告会」

岩手っ子の夢チャレンジ事業「夢の合同報告会」が2月18日、小中学生や青年ボランティアなど約100人が参加して、盛岡市のエスポワールいわてで開かれた。報告会では、県内の小中学生による活動発表や、増田知事を交えた「ドリームトーク」などが行われた。子どもたちに、夢について尋ねられた増田知事は、「地球的な規模で環境のことを考え、良くするために岩手が先頭で走りたい。また日本や世界で活躍できる若い人材を育てていきたい」と語った。